オールインワンインストーラー
サイレントインストール手順書
【ESET PROTECT V10】

第１版
2022年12月20日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

もくじ

1. はじめに（本資料について）

1.はじめに（本資料について）

本資料は、 ESET PROTECT で作成したオールインワンインストーラー(セキュリティ製品+エージェント または エージェントのみ)を使用し、クライアントPCでインストールからアクティベーションの実施までをサイレントで実施する手順についてまとめた資料です。
本資料で想定している環境については以下のとおりです。

環境	
管理サーバー	【OS】Windows Server 2019 【プログラム】ESET PROTECT V10.X
クライアントPC	【OS】Windows 10 Pro 【プログラム】・ESET Endpoint Security または ESET Endpoint アンチウイルス　V7.3 / V8.X / V9.X / V10.X ・ESET Full Disk Encryption V1.X ・EMエージェント V10.X

オンプレミス型セキュリティ管理ツール「ESET PROTECT（EP）」はすでに構築されていることが前提となっております。
また、本画面はESET PROTECT V10.0で取得しております。

1.はじめに（本資料について）

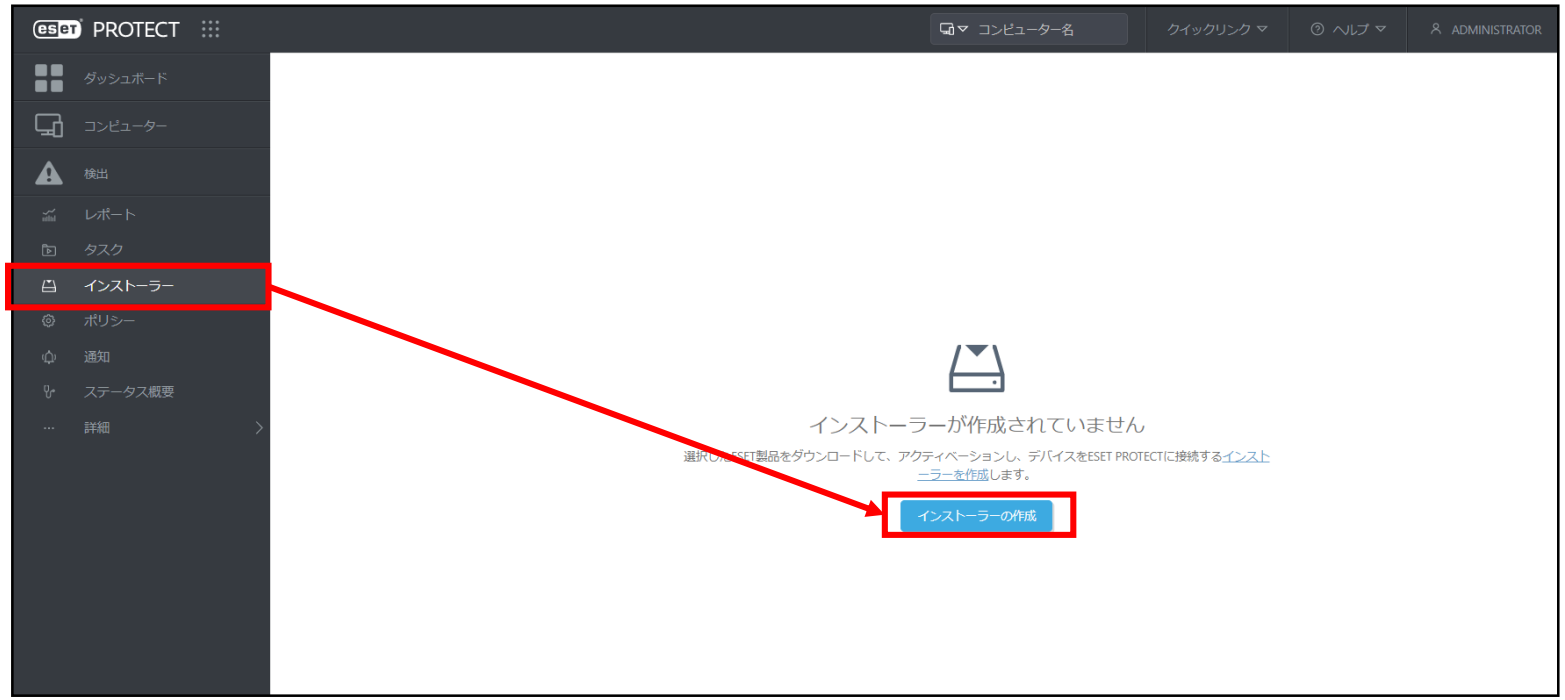
- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に問わず、禁じます。
- ESET、LiveGrid、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET PROTECTは、ESET,spol. s r.o. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Macは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

２.インストーラーの作成

2.インストーラーの作成

インストーラーの新規作成

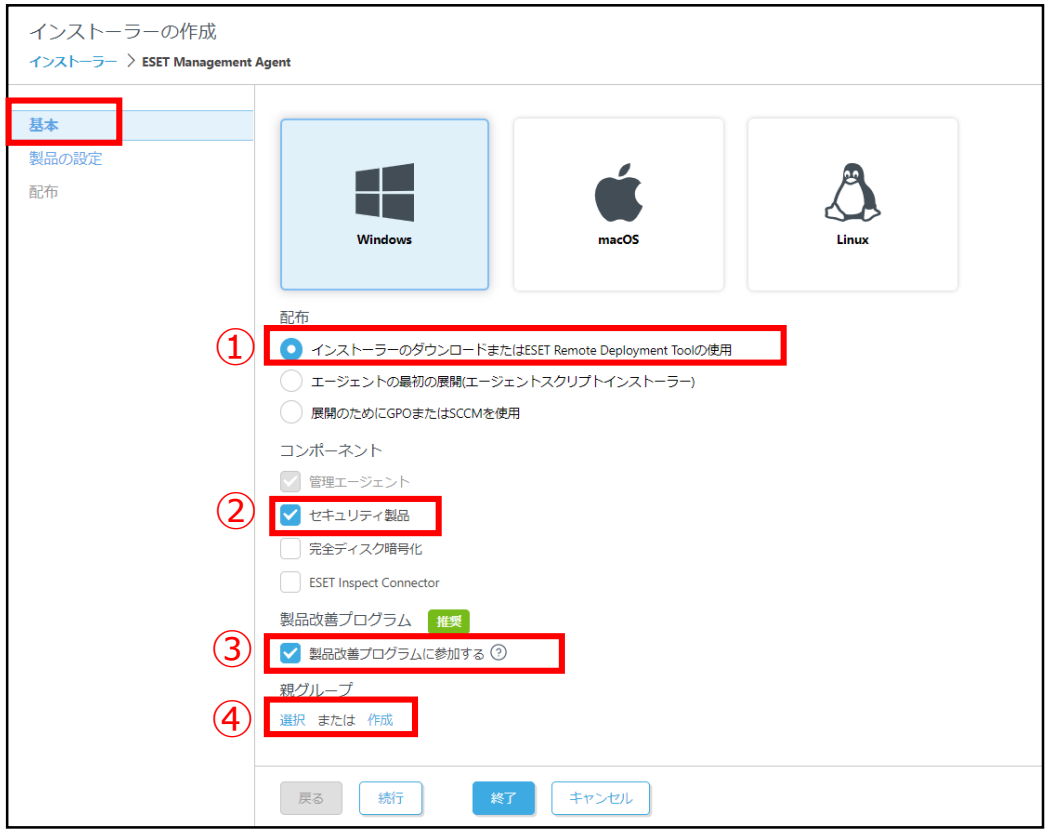
管理サーバーでの作業（EP）
EPを開きます。
[インストーラー]セクションより、[インストーラーの作成] を選択し、新規のインストーラーを作成します。



2.インストーラーの作成

パッケージの選択

[基本]の項目に遷移します。必要項目を入力し下にスクロールします。

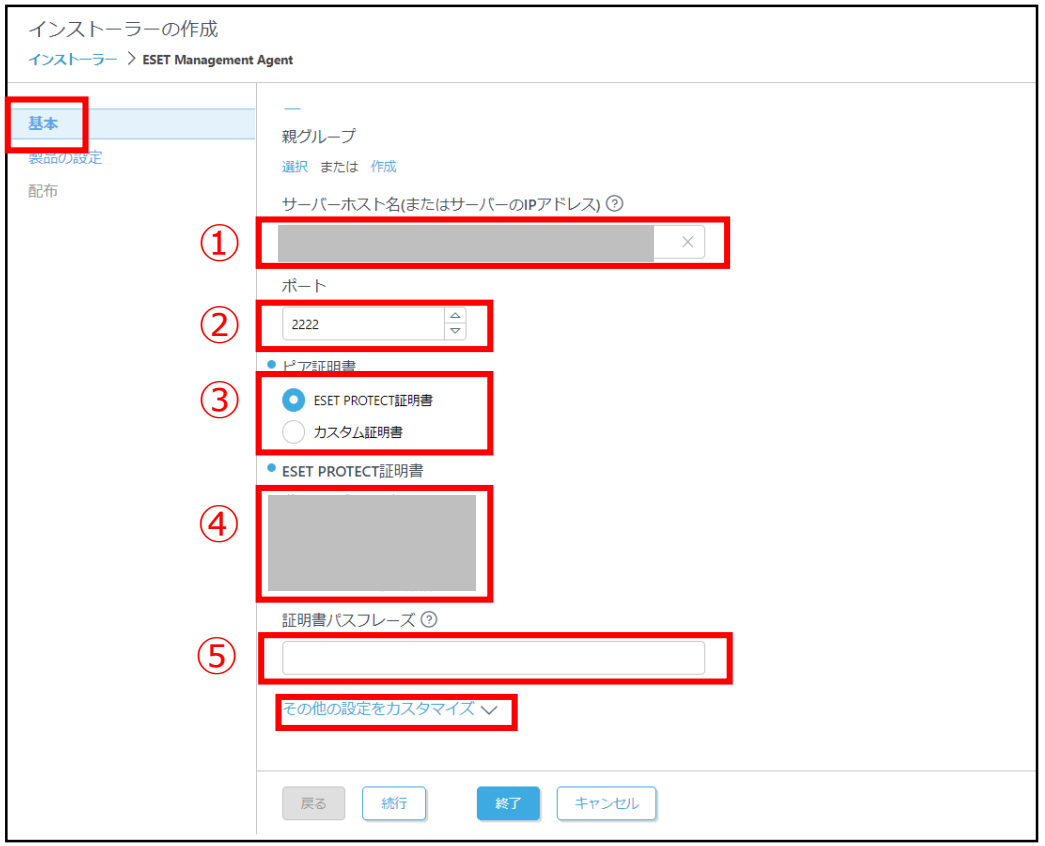


① ［配布］ から、 ［インストーラーのダウンロードまたはESET Remote Deployment Toolの使用］にチェックを入れます。
② ［コンポーネント］ から、 ［セキュリティ製品］にチェックを入れます。
※完全ディスク暗号化製品を導入する場合は[完全ディスク暗号化]もチェックしてください。(完全ディスク暗号化製品のライセンスを購入していない場合はこちらの項目は表示されません)
③ ［製品改善プログラムに参加する］にチェックを入れます。
④ ［親グループ］は任意で設定します。※親グループを指定すると、インストール後に指定したグループに端末が所属します。

2.インストーラーの作成

証明書の設定

[基本]の項目の続きを設定します。必要事項を入力し、[その他の設定をカスタマイズ]をクリックします。



① [サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)]は、管理サーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。

② [ポート]に通信に使用するポート番号を入力します。
※既定で「2222」が入力されています。

③ [ピア証明書]では、「 ESET PROTECT証明書」か「カスタム証明書」のどちらかを選択します。
※本資料では、 ESET PROTECT証明書を選択しています。

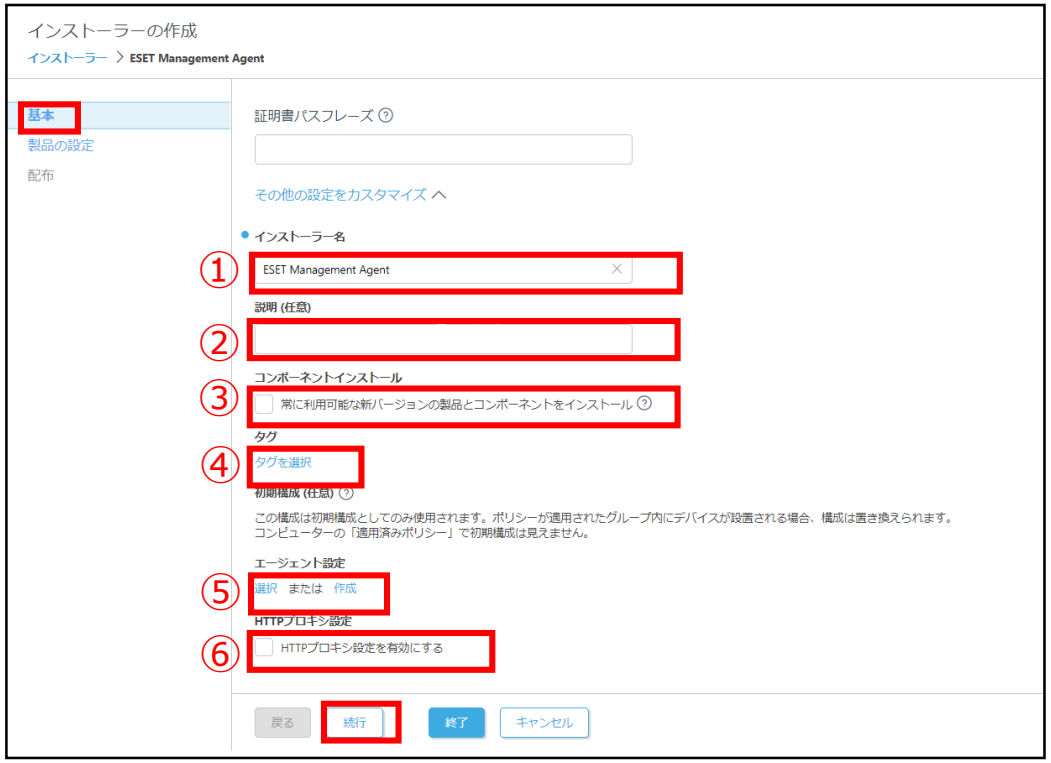
④ [ESET PROTECT証明書]にて、証明書を選択します。
※既定で選択されます。

⑤ 証明書にパスフレーズを設定している場合は、入力します。

2.インストーラーの作成

詳細画面

[基本]の[その他の設定をカスタマイズ]項目を設定します。必要事項を入力し、［続行］をクリックします。



① [名前]を入力します。

② [説明]は任意で入力します。

③ [コンポーネントインストール]は、このインストーラーを長い期間使用する場合に設定します。

④ [タグ] は任意で設定します。
※タグにて、キーワードを設定すると、検索に利用できます。

⑤ [エージェント設定]では、エージェントに組み込みたいポリシーがある場合は、任意で選択します。

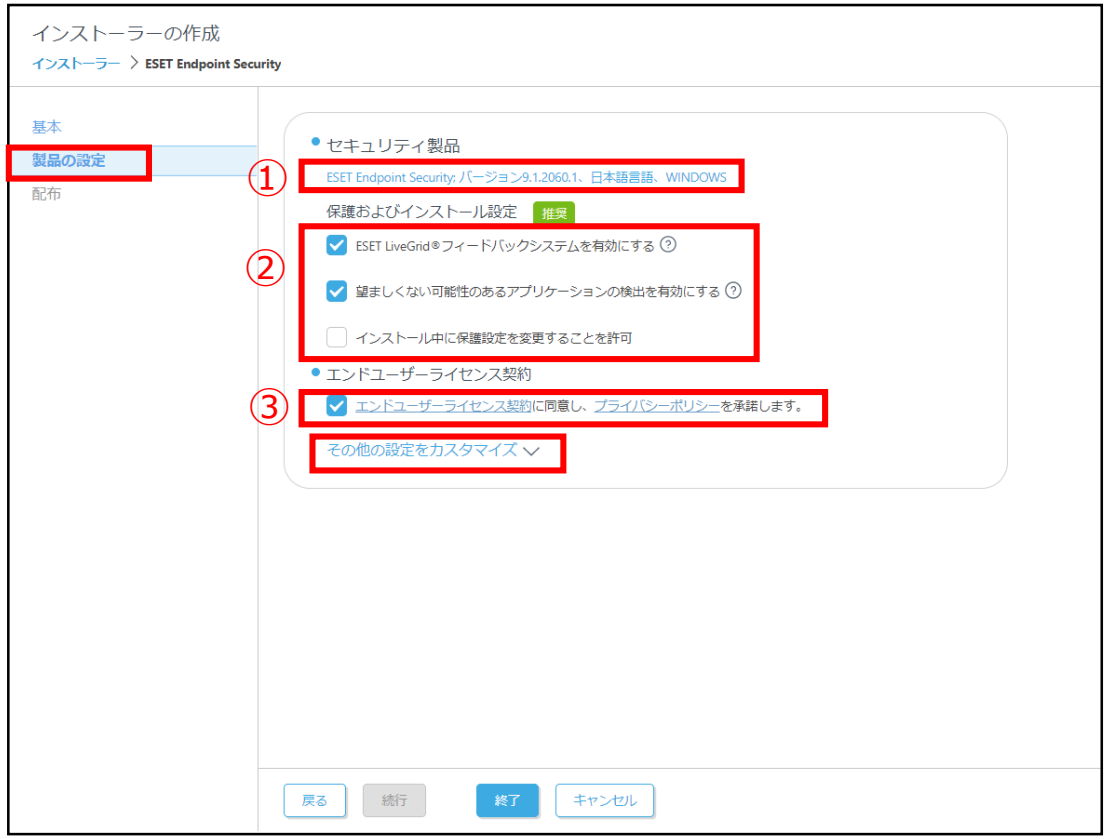
⑥ [HTTPプロキシ設定]は、ご利用のネットワーク環境に応じて設定します。
※エージェントとEP間や、エージェントとインターネット間の通信で、HTTPプロキシを経由する場合は、⑤で別途ポリシーを設定します。
そのためここではチェックを入れません。

＜参考＞ESETオンラインヘルプ　ポリシーウィザード　新しいポリシーの作成
https://help.eset.com/protect_admin/10.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html
【HTTPプロキシ経由設定個所】　製品にて[ESET Management Agent]を選択します。[詳細設定]の[HTTPプロキシ]より入力してください。

2.インストーラーの作成

セキュリティ製品の設定

[製品の設定]の項目に遷移し、必須項目を選択し、[その他の設定をカスタマイズ]をクリックします。



① [セキュリティ製品]で、インストールする製品とバージョンと言語を選択します。
※既定で選択されます。

② ［ESET LiveGridフィードバックシステム］と［望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出］では任意の設定を選択してください。
※「ESET LiveGrid」を有効に設定すると、本プログラムが新しい脅威を発見した場合にESET社へその情報を提出します。

③ 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます。

2.インストーラーの作成

セキュリティ製品の設定

[製品の設定]の[その他の設定をカスタマイズ]項目を設定します。 必須項目を選択し、 [終了] をクリックします。
※完全ディスク暗号化製品を利用する場合、下にスクロールします。

① [ライセンス]を選択します。
※既定で選択されます。
※ライセンスを選択していない場合、インストール時にアクティベーションを求められますので、必ず選択しておきます。

② [設定]でクライアントプログラムにポリシーを組み込みたい場合、ポリシーを選択します。
※クライアントとインターネット間の通信でHTTPプロキシを経由する場合は、別途ポリシーを組み込む必要があります。

③ [ESET AV リムーバーを実行]にチェックが入っていないことを確認します。

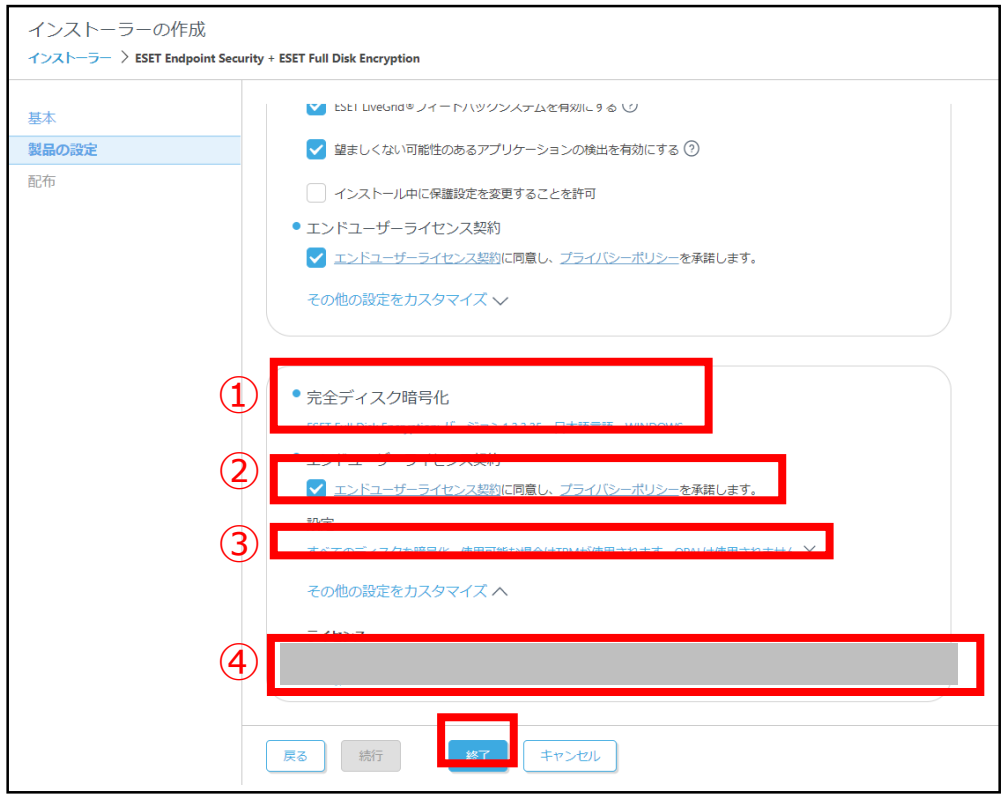
④ [モジュールインストール]は、ご利用のネットワーク環境に応じて設定します。
※オフライン展開の場合はチェックを入れます。

<参考>ESETオンラインヘルプ　ポリシーウィザード　新しいポリシーの作成
https://help.eset.com/protect_admin/10.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html
【HTTPプロキシ経由設定個所】　製品にて[ESET Endpoint for Windows]を選択します。[ツール]の[プロキシサーバー]より入力してください。

2.インストーラーの作成

完全ディスク暗号化製品の設定

※完全ディスク暗号化製品を利用する場合のみ設定してください。
製品[完全ディスク暗号化製品]の項目に遷移し、必須項目を選択し、［終了］をクリックします。



① [完全ディスク暗号化]で、インストールする製品とバージョンと言語を選択します。
※既定で選択されます。

② 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます。

③ [設定]で、任意のポリシーを設定します。

④ [ライセンス]を選択します。
※既定で選択されます。
※ライセンスを選択していない場合、インストール時にアクティベーションを求められますので、必ず選択しておきます。

<参考>ESETオンラインヘルプ　ポリシーウィザード　新しいポリシーの作成
https://help.eset.com/protect_admin/10.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html

3. インストーラーのダウンロード

3.インストーラーのダウンロード

ダウンロード

正常にインストーラーの作成が完了しましたら、[配布]の項目に遷移できます。クライアント環境に合わせたインストーラーをクリックし、ダウンロードを開始します。
以上で、オールインワンインストーラーの作成は完了です。

ダウンロードのダイアログが表示されます。
[閉じる]でダイアログを閉じます。
※ダウンロードが完了すると自動でダイアログが閉じます。

4.フォルダの作成

4.フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

インストールをサイレントで実施するために、バッチファイルを作成します。
・任意の場所にインストーラー用のフォルダを新規作成します。
　（例）フォルダ名：install_setup
・メモ帳を新規作成し、以下のコマンドを入力します。

C:¥install_setup¥PROTECT_installer_x64_ja_JP.exe --silent --accepteula

C:¥install_setup¥
→保存する場所（フォルダ名は任意の名前をつけてください）

PROTECT_Installer_x64_ja_JP.exe
→EPで作成したインストーラーの名前

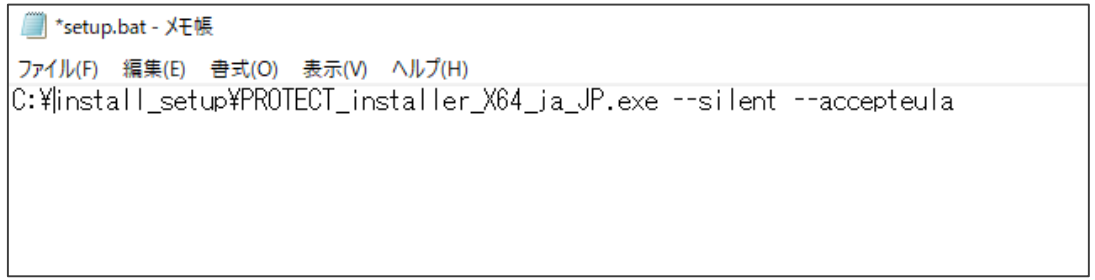
--silent
→プログラムをサイレント（自動）モードで実行させる

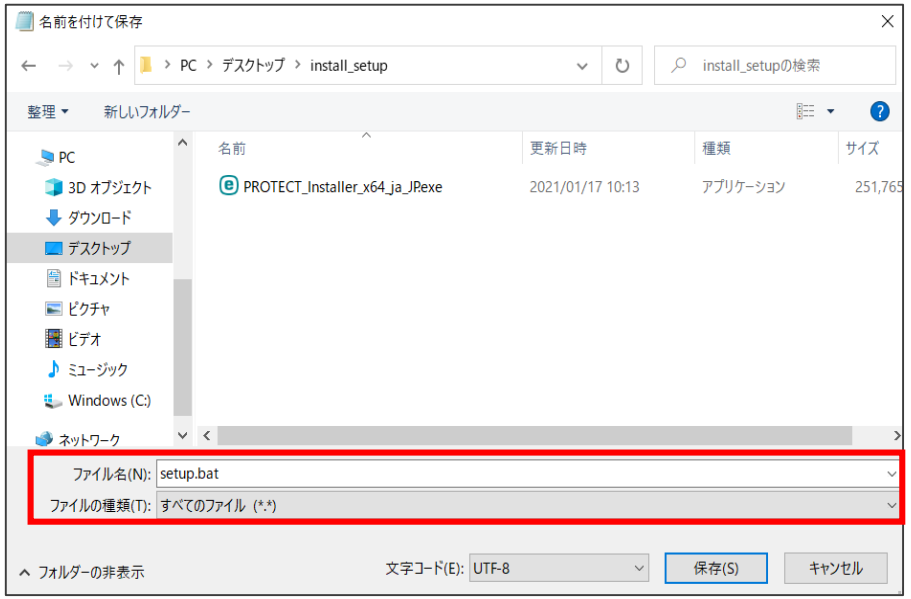
--accepteula
→利用規約に同意する

4.フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

［ファイル]から「名前を付けて保存」を選びます。
ファイルの種類のプルダウンから「すべてのファイル(*.*)」を選び、任意の名前を付け、バッチファイル形式(.bat)で保存します。
（例）ファイル名： setup.bat

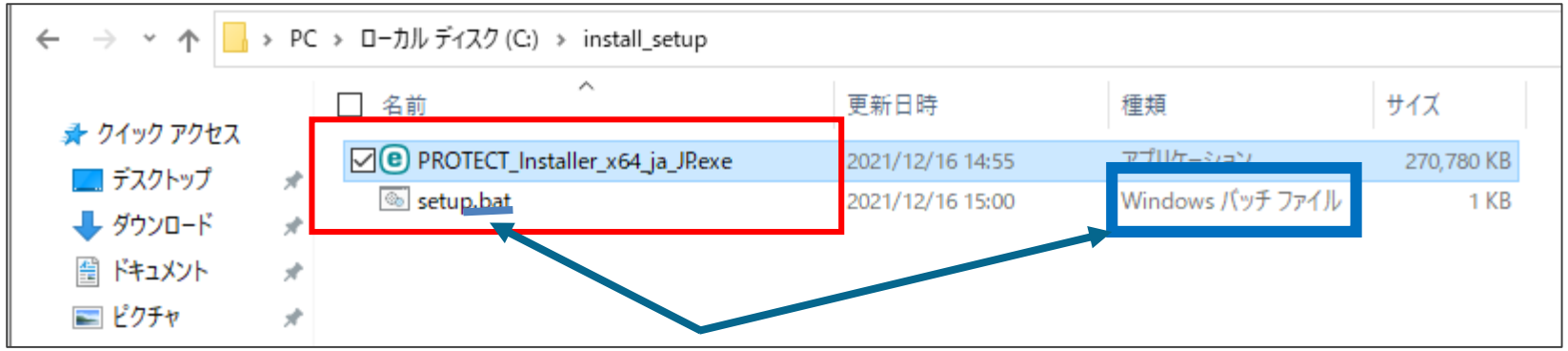




４.フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

3.インストーラーのダウンロード(p.14)でダウンロードしたオールインワンインストーラーと４.フォルダの作成(p.16,17)作成したバッチファイルをインストーラー用のフォルダへ保存します。
※管理サーバーでの作業はここまでとなります。
フォルダをクライアントPCへ配布します。



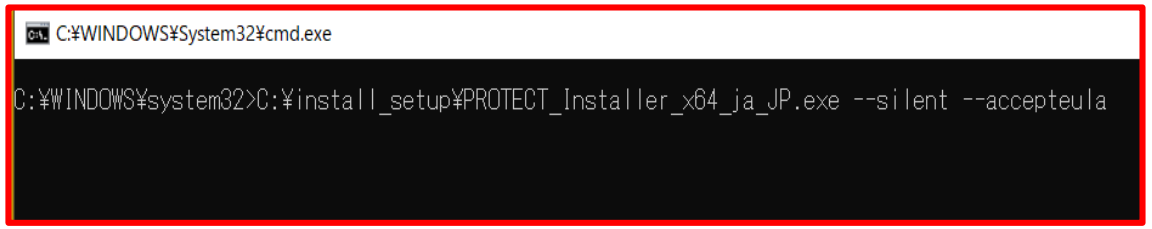
作成したファイルがバッチファイルとして保存されていることを確認してください。

5.インストーラーの実行

5.インストーラーの実行

インストール

クライアントPCでの作業
ここからの手順は、実際にインストールを実行するクライアントPCで作業します。



※インストール中はコマンドプロンプトを閉じないでください。
最小化は、問題ございません。

① 配布されたインストーラー用のフォルダを、クライアントPCのCドライブ直下へフォルダごとコピーします。
② コピーしたフォルダを開き、バッチファイルを右クリックします。
③ [管理者として実行]をクリックし、インストールを実行します。
④ コマンドプロントが表示され、インストールが開始します。
⑤ コマンドプロンプトが消えたら、インストール完了です。

5.インストーラーの実行

インストール

クライアントPCでの作業※完全ディスク暗号化製品を利用する場合のみ発生する作業です。
再起動が求められます。(2回求められます)

1回目

2回目

- 再起動終了後、ハードディスク暗号化のパスワード設定を求められます。
  パスワードを設定頂いたら、完全ディスク暗号化製品のインストールは完了です。

※バージョンによって画面イメージ
が異なる場合がございます。

5.インストーラーの実行

インストール

インストール完了後、ESETのGUIを起動し、以下の項目が確認できたらインストールは完了です。

- アクティベーションに成功している
- 初回の検出エンジンのアップデートが実施されている
- EP上でクライアントPCが管理されている

アクティベーションがされていない場合、以下のようにアラートが出ます。

6.注意事項について

6.注意事項について

本資料の手順でサイレントインストールを行う際は、以下の注意事項にご注意ください。

注意事項

- Mac、Linux向けクライアント用プログラムでは、オールインワンインストーラーを使用してインストールを実行することはできません。 Windows向けクライアント用プログラムのみ使用可能です。
- ESET AV REMOVER はサポート対象外です。
  インストーラー作成時、［ESET AV REMOVER を有効にする］にチェックを入れないでください。
- 設定フォルダは必ずクライアントPC上の任意の場所にコピーしてからご使用ください。
- インストールを実行する際は、管理者権限のあるユーザーアカウントで実行してください。
- 上書きインストールや組み込んだポリシーによっては、再起動が必要な場合があるのでご注意ください。
- 以下の設定が自動的に選択されます。

  ライセンス契約条項への同意　　・・・受諾